

クチコミマニュアル 初級

～ 放射能の危険性を、周囲の人にスムーズに伝える方法 ～

数々の成功と失敗、試行錯誤から、成功率の高いクチコミのマニュアルを完成させました。ご参考になれば幸いです。

成功のポイント

- ・ 最初の“ひとこと”が、勝負！
- ・ クチコミに費やす時間は、1分で十分。
- ・ 世間話をする感覚で、軽いノリで話し始める。
- ・ 自分の言葉で説明をしてはいけない。説明は、丸投げする。
- ・ 相手を説得しなくていい。知らない情報を教えるだけで、認識は変化する。

放射能の危険性を、事細かに説く必要はありません。

安心しきっている現状に、ちょっと「？」を抱かせるだけでいいのです。

成功するクチコミパターン① 「ボランティアしてます。」

実行しやすい、難易度の低いクチコミの方法です。

ちょっと立ち寄ったお店や施設のスタッフさんや、縁の会った人に渡すなど幅広いシーンに対応しています。

放射能問題のボランティアをやっていて、資料を配ってます。
よかったら、どうぞ。

と言って、資料を手渡します。渡すタイミングは、去り際がベストです。

反応：7割方「ボランティア？えらいね～」という肯定的な反応が返ってきます。が、「興味ないからいらない」と受け取ってもらえないこともあります。

資料の条件：

- ・ 分厚い資料は読んでくれません。A4サイズで5枚までが限界です。
- ・ 少ない文字数でも、十分に危機感が伝わる内容のものがよいです。
(広報まつもと12月号や、東京新聞の記事。講演会のビラなど。)
- ・ 一目で理解できるインパクトのある画像の資料は効果大。
(“早川マップ”、“海洋汚染”で画像検索！)

成功するクチコミパターン② 「NHKで放送していた。」

あらゆるシーンに対応。大勢の人が集まっているような場所でも使えるセリフです。

原発の事故前はNHKで「人体汚染」っていう放射能の危険を訴える番組を放送してたんだけど、パニックになるからって、今は流さないんだって。
でもたま～に「低線量被曝の驚異」って番組が放送されることがあるから、チェックしてみて。

自分の言葉で説明するより、「NHKで放送していた」の一言の方が、はるかに説得力があることがわかりました。

多くの日本国民のテレビ・新聞に対する信頼は絶大です。

(放射能安全洗脳を受けて危機感が生じていない現状を見れば、明らかですね。)

正確な番組名を伝えるより、うろ覚えの名称がいいです。相手の想像力を刺激します。

(なお、番組の正式名称は、「終わりなき人体汚染～チェルノブイリから10年」と「低線量被ばく 揺らぐ国際基準」です。)

反論や疑問には「だってNHKでやってたんだもん」と返すだけでOK.

説明し始めると、容赦なく激しいツッコミを入れられたり、揚げ足をとられます。精神力を消耗するので、自信のない人は、説明は丸投げしましょう。

NHKで納得しない場合は「文化放送、毎日放送ラジオや、東京新聞でも言ってる」とメディア名をひたすら列挙します。反論できなくなる上、信憑性もUPします。

さらに「本で調べてみて。(御用学者の本には注意)」と、一言つけ足せば十分。

情報のありかを示さないと、「どうしたらいいのかわからない」と、すぐに諦める選択をしてしまう人が多いのです。この本屋へ誘導のステップは欠かせません。

また、スマホやiPadがあれば、番組や講演会の動画を見せて話せば早いです。

百聞は一見に如かず。動画ほど説得力のあるものはありません。

ラジオ音源なら、ボイスレコーダーに音声ファイルを入れて流せます。

たった

ひとこと③

放射能のことは、知らない方が幸せ

気になっちゃいますね。

クチコミマニュアル 中級

～「教えて」と言われて、説明することになってしまったら～

自分の言葉で説明することは、簡単なようで難しいものです。

少しでも詳しく教えようと話しますと、「それは信用できる情報なのか？」とか、

「専門家でもないくせに」などと容赦なく激しくツッコミを入れられます。

初めて聞く情報に、興奮して躍起になって突っかかってくる人が少なくありません。

成功する説得方法① 何も教えない。

「本やネットで調べてみてね」と言って本のタイトルや、著者、サイトの名称などをいくつか教えて、自主的に調べる方向に持っていくのが一番です。

人は自分で調べて、自分なりに納得したことのほうが、他人の意見より正しいと思うものです。

このとき惑わされないように、“御用学者”についても教えてあげると親切です。

成功する説得方法② 事実のみ列挙する。

想像力の欠如からか、放射線の害について教えてもピンとこない人が多いのです。衝撃的な事実を列挙しまくったほうが、危機的な状況ということがよく伝わります。首都圏の人には、首都圏の汚染状況、地元の線量やホットスポットの具体的な情報。チェルノブイリとの比較など。食品の汚染、低線量による健康被害といった身近な話題だと、聞かずにはいられなくなるようです

容赦なく衝撃の強い話を切り出すと、こちらのペースに乗せられます。

成功する説得方法③ 何も言わずに、一緒にNHKの番組の録画を見る

頑固な家族の説得には、この方法が使えます。年配の方には、NHKは効果絶大です。了承する必要なし。勝手にテレビやPCで番組を再生をして、こちらのペースに引き込みましょう。(見るかと聞くと大抵「興味ない」と言われるから、了承は必要なし)ラジオの録音なら、かけやすいです。今まで懐疑的だった人が、「あら！」と態度を一変させたという報告を何度も聞いています。※逃げられたら諦めましょう。推奨番組・・・シリーズ原発危機「知られざる放射能汚染～海からの緊急報告～」NHK

成功する説得方法③ 説明するなら資料は必須

詳しく説明することになったときは、資料は必須です。

「信用できるデータを出せ」「証拠を示せ」と窮地に立たされる可能性は大。なので、基本、資料が手元がないときは、説明を避けたほうがいいです。スマホやiPad、ノートパソコンなどがあれば、あらゆる資料を詰め込むことが出来るので便利です。

テキストデータは、デマだと軽ろんじられる可能性大。新聞の画像はOK。動画の信憑性が一番高いです。Youtubeなどの動画を活用してください。

説得できる相手

- ・ まっすぐ目を合わせて聞く人。
- ・ 興味深々な表情をした人
- ・ 本気で今まで何も知らなかった人
- ・ 話し始めから相づちのテンポが良かった人

説得できない相手

- ・ すかさず目をそらした人
- ・ 逆ギレな雰囲気伝わってくる時
- ・ プライドが高い頑固者
- ・ 現実を知る勇気がない気弱な人
- ・ 無表情、無感情を貫く人

注意事項：万人に効く方法ではありません。聞く耳をもたない人、現実を直視しない人もいます。諦めも肝心。

☆資料☆ お薦めの本のタイトル

宝島社「放射能の本当の話（シリーズ）」／小出裕章「原発のウソ」
武田邦彦「放射能と生きる」／上杉隆「報道災害」／肥田俊太郎「内部被曝」
朝日新聞特別報道部「プロメテウスの罠」／
漢人明子「内部被曝 こうすれば防げる」
坂内智之・柚木ミサト「放射線になんか、負けないぞ」

おまけ ネットの罠に注意！

SNSでは、あからさまにステマや言論統制が行われています。ブログやコミュニティーの強制削除も行われています。WEBプロモーション会社が関与している“実態のない偽装ユーザー”が大量に存在します。相手をするのは不毛。相手の思うツボです。気力を消耗させないために、説得などはせずスルーしましょう。

ご意見・ご感想はミニアクション実行委員会 nonuke_miniaction@yahoo.co.jp まで